

【美術博物館】山口県周南市花島町10-16 (0834-22-8880) <http://s-bunka.jp/bihaku/>【郷土美術資料館・尾崎正章記念館】山口県周南市富田永源 (TOSOH PARK 永源山内) (0834-62-3119) <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

(図1) 天野芳彦「桃」油彩

(図2) 尾崎正章「お巡りさん」油彩
(JAコレクション)(図3) 松田正平「あけびといちじく」油彩
(JAコレクション)

(図4) 宮崎進「猫のいる静物」油彩

コレクション展

【展示室3】

小さなしあわせ♡

1月26日(日)まで開催中!

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
月曜休館 ※ただし、1月13日は開館、翌14日休館

常設展観覧料

■一般 200円(160円) ■大学生 100円(80円) ()内は前売および20名以上の団体

※18歳以下および70歳以上無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

「世界幸福度ランキング」※で7年連続1位のフィンランド。その秘密は何なのでしょう。そもそもフィンランドの人は幸せを感じる基準がとてもシンプルなのだそう。太陽の恵みに感謝し、新鮮な空気を胸いっぱい吸いながら森を散策する。日常のささやかな喜びに心を向け、立ち止まって小さな幸せを実感する。

ということで今回は“小さなしあわせ”を感じていただけるような作品を集めてみました。

トレーの上に置かれた桃(図1)。色づいた赤が印象的です。画面全体に陽が差し込み、紫がかった陰を落としています。四角い画面に四角いトレーを配置するのは、なかなか勇気のある構図ですが、それが逆に画面の広がりを感じさせます。そして5つの桃が絶妙なバランスで配置されています。この絵は桃を食べるといった幸せだけでなく、そっと眺める幸せもあるのだと感じさせてくれます。

白を基調とした叙情的な作品や、青みを帯びた瀬戸内の風景画で知られる尾崎正章にしては珍しく、海外の街角を描いた作品(図2)。パステル調の色合いが、暖かな日差しを感じさせます。何気ない日常の風景を切り取った作品ですが、平和とはこういうことなのかと、ふと気づかされる作品でもあります。

どちらがあげびで、どちらがいちじくなのか(図3)、もはやそんなことは松田正平にとって気にするところではないようです。黒い線のみで描かれた(おそらく)あげびには思わずグッと笑みがこぼれます。子どものような無邪気さが伝わってくる作品です。

かぼちゃと猫とお面と玉ねぎ(図4)。独特な組み合わせですが、素材の異なるものが1つの画面に違和感なくおさまっているのが不思議です。間違いなくいえるのは、そこが猫にとってとても居心地のよい場所だということです。

4つの絵を紹介しました。絵を通して思わず笑顔が見られることを想像しながら、心温まる作品を展示しています。フィンランドの森とまではいきませんが、美術の森を散策して“小さなしあわせ”を見つけていただくと幸いです。

(周南市美術博物館 学芸員 今井良枝)

※「世界幸福度報告(World Happiness Report)」(国連)より

美術博物館ホームページはこちら



◆年末年始12月29日(日)～1月3日(金)は休館します。ご了承ください。

第22回 周南市美術展2024

2月2日(日)に公開審査を行います。
見学については予約制(往復はがき)【1月22日(水)必着】



詳しくはこちら

観覧
無料



前回の展示風景

◆会場 周南市美術博物館 展示室1・2・3

◆会期 前期展覧会(平面・立体) 2月12日(水)～2月16日(日)
後期展覧会(書・写真) 2月19日(水)～2月23日(日・祝)

9:30～17:00(入場は16:30まで) 月曜休館 ※2月12日(水)は、表彰式後10:00から開場

◆問い合わせ先

運営全般に関すること … 周南市文化スポーツ観光部文化振興課(文化振興担当)

〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地 TEL 0834-22-8622(8:30～17:15 土日祝は休み)

作品、展示に関すること … 周南市美術博物館

〒745-0006 周南市花島町10番16号 TEL 0834-22-8880(9:30～17:00 月曜休館 ※祝休日の場合は翌日)

※最新情報は、市と美術博物館のホームページでご確認ください。

参加者募集



美術博物館 探検ツアー

展示室の秘密をのぞいてみよう!

ワクワク! ドキドキ!

さあどんな体験ができるかな?

- 日 時 2月16日(日) 午後1時30分～2時30分(予定)
- 場 所 周南市美術博物館
- 対 象 小学4・5・6年生、中学生とその保護者※市外の方も大歓迎です!
- 定 員 5組(お子さまだけでの参加はできません)
- 参 加 料 無料
- 申込方法 往復はがきに①住所②参加者全員の氏名・年齢③お子さまの学校名・学年④電話番号を明記のうえ、周南市美術博物館(〒745-0006 周南市花島町10-16)までお送りください。TEL 0834-22-8880
- 締 切 1月31日(金)必着 ※希望者多数の場合は抽選を行います。

＼おまたせいたしました…復活メニューです! /

ほっと一服♪ 味わい抹茶 500円(税込)

香り高い抹茶を、スタッフが丁寧に点てています。
池のまわりの木々を眺めながら、ゆったりとした
ひとときを過ごしませんか?



目でも楽しみ
いただける
和三盆
付き♪

和三盆(わさんぼん)は、「竹糖」というサトウキビを使用した、香川・徳島の伝統的な砂糖菓子です。館内のショップでもお求めいただけます♪

※急激な抹茶需要の高まりによる品薄状態で、ご提供できない場合があります。



カフェ
テラス
まで

LAWSON

恵方巻

ご予約承り中
1月27日(月)まで

海鮮恵方巻 580円(税込)
韓美膳監修 黒毛和牛ブルコギ
クリームチーズキンパ恵方巻 998円(税込)

ローソン徳山動物園前店 0834-32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ〜!〈132〉 もんだい

しゅう なん し び じゅつ はく ぶつ かん
周南市美術博物館が
かい かん
開館したのはいつだろう?

周南市美術博物館
常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：年末年始(12/29～1/3)、月曜日※ただし、1/13開館、翌1/14休館

展示室 3 コレクション展示室

コレクション展 **小さなしあわせ♡**

1/26(日)まで開催中

「世界幸福度ランキング」※で7年連続1位のフィンランド。その秘密は…。詳しくは、表紙をご覧ください。

※『世界幸福度報告(World Happiness Report)』(国連 SDSN)より

富士山の形をした
かわいらしい香合も
展示しています



田中柏陰 絵付「富士形香合」

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は1/4(土)～3/30(日)

この作品は、色や形が左右対称で、一見すると、ちょうちょうが羽を広げているかのようです。

近づいてよく見ると、真ん中に折り目があるのがわかります。半分の面に絵の具を塗ったり、垂らしたりして、紙を折り、反対側に転写させているのです。まどさんは、抽象画を描くのに、いろいろな描き方を試みています。作品を見る際に、どんなふうを描いたのかも想像してみてください。



(タイトルなし) 制作年不詳

展示室 4 林忠彦記念室

長州路 2/28(金)まで (2024年12月前半)

びびびの美



サビエル記念聖堂は、1952(昭和27)年に建てられました。スペインにあるサビエル城の一部を模して造られ、ステンドグラスにはサビエルの一生が描かれていました。地元の人々にも親しまれていましたが、撮影から約10年後の1991(平成3)年、火災に遭い全焼しました。現在の聖堂は、1998(平成10)年に再建されたものです。



「写真の記録性」を林が強調していたように、失われた聖堂を観ることはできませんが、作品を通して聖堂やステンドグラスのかつての姿をしのぶことができます。

サビエル記念聖堂のステンドグラス
(山口市 亀山町)
撮影 林忠彦

徳山の歴史 特設コーナー

「山陽新幹線開通50周年記念 徳山駅のあゆみ」
1/4(土)～4/30(水)まで

1888(明治21)年に兵庫一姫路間で開通した山陽鉄道は、1897(明治30)年に徳山まで開通し、徳山駅がつけられました。

現在の駅の前身である徳山山衆駅は、1969(昭和44)年に新幹線の停車駅併設を想定してつけられました。

山陽新幹線は、今年3月10日に全線開通50周年を迎えます。これを記念して、明治から現在までの徳山駅のあゆみと関連資料を展示します。



明治終わり頃の徳山駅



1975年、山陽新幹線が開通した頃の徳山駅

周南市美術博物館 その他の1月の展覧会

9:30～17:00(入館は16:30まで)

観覧無料

- 第17回周南美術連盟展…………… 1/10(金)～13(月・祝)(10日は13:00～、最終日は16:00終了)【展示室1・2】
- 第19回周南陶芸連盟展…………… 1/18(土)～19(日)(最終日は16:00終了)【展示室1】
- 第50回記念山口県写真作家協会会員展…………… 1/24(金)～26(日)【展示室1】

美博クイズ～!〈132〉 こたえ

1995年(平成7年)9月4日だよ。

今年 30 周年を迎えるよ。

みなさんは美博に

どんな思い出があるかな?

とうしんの スカイバンク **カーライフプラン** お借換え可能!

取扱期間:2024年4月1日(月)▶2025年3月31日(月)

※ご本人・同居家族の方で、カードローンまたは定期積金(掛込金額1万円以上)をご契約中の方、新規でご契約の方に限定

特別金利(保証料含む)	満額お取り引き条件を	特別金利より最大-0.2%で
カーライフプラン 固定金利 年利 2.4%	お取り引き条件を	カーライフプラン 年利 2.2%
カーライフプラン プライム 固定金利 年利 2.1%		カーライフプラン プライム 年利 1.9% となります

基準金利 年4.38%から1.98%お得になります

インターネットからの 仮審査申込みも可能です。

東山口信用金庫 <https://www.higashiyamaguchi-shinkin.co.jp/>

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

コレクション展〜小さなしあわせ♡ ~1/26(日)

第17回周南美術連盟展 1/10(金)~13(月・祝)

第19回周南陶芸連盟展 1/18(土)~19(日)

第50回記念山口県写真作家集団会員展
1/24(金)~26(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

企画展 遠藤春生絵画展「或る星の下に」
尾崎正章常設展 「その軌跡をたどる」
1/11(土)~3/2(日)

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

企画展「毛利家のお正月」 ~1/20(月)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

坂井真理子展
いのちの色、いのちのかたち ~1/26(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

美人画の四季 ~4/13(日)

萩博物館 ☎0838-25-6447

阿武川歴史民俗資料館開館
(阿武川ダム建設)50周年記念企画展
「ふるさと萩の継承
—阿武川流域の暮らし—」 ~3/2(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

没後50年香月泰男展
第三期1966→1974 ~1/13(月・祝)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

所蔵品展「香月泰男
ふるさととわが家／新春めでたい動物!？」
1/4(土)~2/9(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展「毛利元敏—趣味と郷土を愛した
最後の殿様—」 ~2/9(日)

～ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

- 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)
()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日: 月曜日 ※1/13は開館、翌1/14は休館
※展示準備等のため、1月10日まで休館



企画展

中・小展示室

1月11日(土)▶3月2日(日)

遠藤春生絵画展「或る星の下に」

木や花や生物は、自然の循環に従いながらそれぞれの場所に存在し世界を構成しています。遠藤氏は卓越した描写力で自然の移り変わりや生き物たちのたまたまを見事に描き出しています。緻密な表現の奥にある、かけがえのないこの地球の息づかいをぜひ感じとっていただけたらと思います。

〈略歴〉

1946年 新潟県生まれ
1996年 雪舟ますだ美術大賞展 特別優秀賞
小磯良平大賞展 入選
(以降 佳作1回・入選3回)
2001年 MBCサムホール美術展 大賞
2002年 FUKUIサムホール美術展 大賞
2005年 第8回川の絵画大賞展 大賞
2017年 東京芸術劇場にて4人展
2023年 イタリア Fabriano in Watercolor
(日本チーム選出)
2024年 日本国際水彩画会(招待)
ほか受賞、個展など多数



「蝶の通る道」2004年 アクリル、木、紙・パネル

作家による作品解説(手話通訳付)

1月11日(土)9:30～

正午までは入場無料

常設展【同時開催】

大展示室

尾崎正章常設展

「その軌跡をたどる」

尾崎正章(1912～2001)は、ふるさと周南を中心に、人物や港の風景、身近な品々などをモチーフに絵を描きました。

今回は初期から晩年まで、彼の画業をたどる作品を展示します。「白い叙情」と評される白を基調とした作品をはじめ、青みを帯びた色調の瀬戸内の風景、花柄模様を背景にした人物など、テーマや画風の移り変わりとともにご覧ください。



「夜あけ(残月)」1958年 油彩・キャンバス

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。http://s-bunka.jp/kyoubi/



周南市美術博物館にとって、今年、開館30周年という節目の年です。訪れてくださる方々の、大切な「何か」につながるひとときが提供できるよう、これからも様々な文化活動に取り組み、邁進して参ります。今年も、皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

(高橋)

ミニコラム
ガス燈

「何かがあるだろう、今年も。」
昨年11月、周南市美術博物館にて「谷川俊太郎 絵本★百貨展」開催中にこの世を去られた、詩人・谷川俊太郎さん作詞の合唱組曲『この星の上で』終曲「今年」の冒頭部分です。この詩の中に出てくる「何か」とは、例えば、「大笑い」をしたり、「あくび」をしたり、「くだらぬこと」に喜ぶこと。どんなに平凡と思われる毎日にも、必ず変化があるものです。さらに、明るく前向きな事柄だけではなく、「涙ながらの歌」も、「固めたこぶし」も、「眠れぬ夜」もあり、「決心はにぶる」だろうと、谷川さんは語ります。